

令和 8 年度 第 1 回 串間市公共施設等総合管理計画検討委員会 議事録

日時：令和 8 年 7 月 2 2 日

場所：串間市役所 3 階大会議室

記録：鍋倉 智昭

出席者	根岸裕孝 委員、丹生晃隆 委員、井手明人 委員、阿萬光弘 委員、 西村悟 委員、加藤真里 委員
欠席者	なし
事務局	谷山貴慶 課長、中山慶輔 係長、坂田理緒 主事、鍋倉智昭 主事
傍聴者	なし
次第	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議題 1) 串間市公共施設等総合管理計画(序章～2 章)の改訂内容につ いて 2) 串間市公共施設等総合管理計画(3 章～4 章)の改訂内容につ いて 3) 串間市公共施設等総合管理計画(5 章～6 章)の改訂内容につ いて 4. 今後のスケジュールについて 5. その他 6. 閉会
資料	資料① 串間市公共施設等総合管理計画(序章～2 章)の改訂内容につ いて 資料② 串間市公共施設等総合管理計画(3 章～4 章)の改訂内容につ いて 資料③ 串間市公共施設等総合管理計画(5 章～6 章)の改訂内容につ いて

議事の経過	
発言者	発言の内容
事務局	1. 開会 ・ 資料確認 ・ 傍聴希望者の確認 2. 委員長あいさつ 3. 議題 串間市公共施設等総合管理計画の改訂内容について (事務局より資料①を説明)
根岸委員	・ 背景と目的について、説明資料には FM の視点を追加とあるが、資料内では FM の視点を追加した結果が見えづらい。市民の目線から見て、改訂内容についてはわかりやすく示すべき。 ・ また、串間市民一人当たりの公共施設延面積 9.42 m²/人も全国平均の 3.2 m²/人と比較しているが、串間市と類似の自治体を探して比較すべきでないか。地域的特性を鑑みつつ、類似団体との比較もあれば説得力が上がる。
井手委員	・ FM の視点については、普段から関りがなければわかりづらく、説明を追記したほうが良いと感じる。
事務局	・ FM の視点を計画には記載を追加する。 ・ 市民一人当たりの公共施設延面積については、串間市が類似団体と比較して高い数値を示しているが、類似団体も本市と同様に公共施設の延面積を減らすことは念頭にある。そのため、目標は維持する。
西村委員	・ 年少人口は 15 歳未満とのことだが、体感としては直近 4 ～ 5 年で出生率は大きく減少しているのではないか。推移が分かる資料があれば示してほしい。
事務局	・ 現在、手持ちに資料がないため正確な数字ではないが、ここ 2 ～ 3 年の出生数については 60 人前後を推移している。 ・ 福島小学校の建替計画も進行しているが、完成するころには全校児童数が 300 人を切るのではないかという懸念もある。
西村委員	・ 直近の出生数から勘定して、人口はかなり減ることは予測される。 ・ それらを踏まえた結果、現在示している推計値よりも実際は減少するのではないか。

事務局	・出典元は総合政策課策定の人口ビジョンがもとになっている。串間市の政策を踏まえた展望の人口推計でもあるため、現状示している数字を下回ることも考えられる。
丹生委員	・公共施設の更新費用推計について、総務省の公表していた試算方法から変更したことは把握したが、これについて詳しく教えてほしい。
事務局	・国土交通省が公表している令和9年度の新営予算単価を参考にして - いる。 ・構造及び面積等の条件により単価が変わる計算になる。
丹生委員	・改訂前の試算ソフトより精緻に計算した認識でよいか。
事務局	・その通り。
根岸委員	(事務局より資料②を説明) ・地域インフラ群再生戦略マネジメント（以下、群マネ）について、方針を追記するとのことだが、具体的な方策について記載しないのか、一定の説明が必要なのではないか。
丹生委員	・以前の検討委員会で群マネについて説明があったが、その際に他自治体が絡む以上安易に計画に方策を盛り込むことが難しいが、国が掲げているため計画に追記するような話であったと記憶している。
事務局	・F M戦略課において、実務分掌上公共建築物については管理・方針の決定が可能だが、インフラについては所管の範疇に入っていないため、具体的な内容を今回の改訂では盛り込むことは難しい。 ・二期の計画期間内に具体的な内容が追記可能となれば、盛り込もうとは考えている。
阿萬委員	・上下水道施設の老朽化について、集落が著しく少ない地域について、水道施設が止まるようなことはないか。
事務局	・現状串間市において、そのような事例はない。 ・ただし、市木地区の築島では定住者が5人程度であることから、住民がいなくなった場合の別荘地に対しての将来的な施設維持管理は課題となる可能性はある
丹生委員	・「当面継続」の意味について詳しく訊きたい。 ・文面通りの意味になるとは考えるが、8割縮減に相当するという文言もあるため、ゆくゆくは「当面継続」が「見直し」にシフトしていくようにイメージするが。
事務局	・本来であれば「計画的保全」と「見直し」の2種類のみに区別した

根岸委員	かったが、急な施設の用途変更や解体廃止等の方向転換は難しいため、事後保全を行いつつ暫定的に利用を継続する施設になる。 ・地域ごとの施設評価もあり、福島地区以外では計画的保全以外が目立つが、地区住民との合意形成はとれるのか。
事務局	・市民アンケートを実施する予定もあり、そこで方針を示して理解を得る予定。
根岸委員	(事務局より資料③を説明) ・廃校学会の事務局をしているが、廃校活用について問い合わせがくることがある。 ・計画中に PPP/PFI の記載があることから、具体的な記載を盛り込んでよいと考える。サウンディングの実施や民間提案の受付等踏み込んで記載してよい。 ・庁内の調整だけで済ませず、庁外から意見を呼び込む体制は必要。
事務局	・個人的なイメージだけであれば具体的な考えも持っているが、FM 戦略課が今年度新設されたこともあり、庁内の体制が追い付いていないのが現状になる。 ・今後とも課内、課外含めて研修等を通じた啓発を行っていく。
井手委員	・公共施設を所管している課が具体的な手段を知らないことも、民間活用が進まない理由の一つであるため、研修等の勉強をする機会が必要。
根岸委員	・国土交通省の PPP サポーター制度もあるため、それらを活用して研修等実施してほしい。
丹生委員	・具体的な言及は難しいかもしれないが、民間活用が可能な施設について目星はあるか。文化会館など集客できる施設については可能性があるが、そういった施設でなければ民間事業者も手を上げづらいのではないか。 ・旧吉松家住宅についても、民間活用でなにかしら利用ができるのではないか。
根岸委員	・民間から要望がなければ見切りをつけることも説明がつきやすくなる。 ・また、日南市では飫肥の文化財を民間で活用している事例もある。
井手委員	・旧吉松家住宅については、FM 戦略課に関わらず、市としての方針を明確化すべき。教育委員会からは文化財の取消は難しいという回答を以前もらっているが、今後耐震対策を行うのに 10 億円程度要

	するということだった。 ・現状の串間市の財政規模では維持が難しいこともあり、FM 戦略課のみで解決できる問題でもない。
根岸委員	・都井岬のホテルが急に撤退するなど、民間との付き合いに難しい側面があることは理解する。しかし、民間側の考えを理解できる人材を育成することは必須になる。必要であれば外部の人材を迎えることも検討すべきと考える。
井手委員	・今の串間市では、施設を管理していくうえで、直営か指定管理者の二択になっている現状がある。PPP/PFI についての勉強が足りていない。
根岸委員	・都城市では温泉を民間に完全に移譲する事例もあったが、そういった考えを持って、実行まで至るには知識が必要。
加藤委員	・資料を見る中で、人口減少は避けられないことは理解した。市民に向けても周知を行い、将来に負の遺産を残してほしくない。
丹生委員	・更新費用の平準化について、実績額として改修はほぼ行っていないという認識でよい。
事務局	・その認識でよい。
井手委員	・学校施設の占める面積の割合は大きい。今のところは市の方針は示していないが、小学校の統廃合は公共施設等総合管理計画とも大きく関わる。福島小学校以外の小学校はすでに複式学級となっており、計画だけに関わらず教育自体の問題にも関わる。
事務局	・福島小学校の建替えの計画もあるが、入学児童数は減少するに関わらず、現状の規模を維持したものになる。早めに建替えの方針を打ち出して、計画中にも方針を盛り込む必要がある。 ・福島小学校の建替基本計画策定時に、統廃合を盛り込むべきか議論はあった。本計画においても小学校施設は廃止するまでは利用する必要があるということで素案では「継続利用（当面継続）」で判断している。 ・地区会長との話し合いの場でも統廃合についての言及があったが、教育委員会から方針を打ち出さない限り、本計画でも記載は難しい。
根岸委員	・学校が存続している最中に廃校後の活用を検討したがないとも聞く。
事務局	・統廃合後長くて 10 年程度休校状態を維持してしまうこともあり、跡地活用が進んでいない。以前は教育委員会が事務局で、学校跡地

阿萬委員	に関する委員会があったが廃止となり、今後は FM 戦略課が方針を決定していくことになる。 ・ 廃校活用の委員会のメンバーであったが、市木中学校の跡地も民間の提案があったがなんらかの障壁があり、頓挫したと記憶している。 ・ 中学校跡地も利用がないまま劣化が進行しているため、利用できなくなる前になんらかの活用を図ってほしい。
事務局	・ 廃校跡地についても可能であれば利活用したい。 ・ 市木中学校についても教室棟は朽ちてしまって難しいが、管理棟については多少の費用を投入すれば再利用できるようであるため、コミュニティ施設として活用することも考えている。 ・ 民間から要望もあれば、なにかしらの施策を考えていく。
事務局	4. 今後のスケジュールについて ・ 年度内に庁内での会議に諮り、検討委員会を再度開催したのち、議会での報告説明を予定している。 ・ 議会説明のスケジュールを鑑みて、検討委員会を 11 月での開催を検討しているがよろしいか。
根岸委員	・ 原則水曜日の午前中であれば参加可能なため 11 月 25 日(水)はいかがか。 (全委員の了承を確認)
事務局	・ 次回開催は 11 月 25 日(水)午前 10 時から、串間市役所 3 階大会議室で予定する。 5. その他 (特になし) 6. 閉会

以上のとおり、令和8年度第1回串間市公共施設等総合管理計画検討委員会議事録
として確認します。

令和8年 8 月 17 日

委員

根岸裕子